

たまま墓に運ばれた。生前に美しくあつた顔が死んで益美しくなつたから人々にこれを見せる爲めであつたと云はれた。澤山な人の群は悼みの涙を流して彼女の葬列に加つた。メヂチ家に集つた凡ての詩人は彼女の悲しき運命を詩歌を作つて悲しみ悼んだ。プルチ (Pulci) 及びボリチアノ (Poliziano) 兩詩人は拉典語で哀悼の詩と短い詩形のエピグラム (epigram) とを作りロレンツォも亦ソネットを作つて彼女を記念した。

新著紹介

○地理論叢第一輯

京都帝國大學文學部地理學教室

古今書院發行 定價二圓五十錢

本書は京大地理學教室の研究報告で、年四回發刊される豫定である、石橋教授の地理學概、岩根氏の徳川時代地誌の撰述内田氏の阿波の農業地理、織田氏の龜岡盆地、小牧氏の日本の聚落の高距限度、塚本氏の京都市域の地理、別枝氏的美濃の輪中、村松氏の本邦の村落形態、米倉氏の條里、渡邊氏の男鹿半島の地誌十篇を收録し菊版四一六頁に達する、四十

五字詰十五行であるから、普通の雜誌とちがつて紙面にゆとりがあつて見心地がよい、しかし引用文などは、これ以上六號にしてつめた方が却つて効果が多いと考へる、最後に本誌の定價であるが時節柄でもあり、且學問普及の上からみて、せめてこの半額位にしられたならば結構と存じ、切に當局の御一考を乞ふ。(藤田)

○大滿洲國詳圖

小林又七著作 兵用圖書株式會社發行

小林又七著作といふこの詳圖は、二百萬分の一の美はしい着色六度刷であつて、權威ある新しい地圖といふべきであらう東亞百萬分一興地圖を原本として新しく増訂したもので、時局を理會するに好都合である。掛圖とした方の定價一圓三十錢である。折本ならば七十錢だといふ。大阪和樂路屋發行の新滿洲國大地圖はこの詳圖によつて、やゝ簡略化されたものであるが、この方は知友齋藤巳代治氏の刪削である、民間の著作として見るべきものゝ一つである、新しい滿洲國の刻圖として同時に同じ形のものが、東、西に二つ出たことを報告しておく。(藤田)

雜報

○大阪市外京阪沿線守口より發掘せられたる半

化石に就いて

大阪府北河内郡守口町大字土居^{ドキ}地内に